



吹上駅北口駅前広場のモザイク平板

市長の施政方針に対する

代表質問

本定例会では、市長が平成21年度予算でどのような事業を行うのかという施政方針を説明し、それに対し各会派の代表から多彩な質問が出されました。

ここでは、その主な内容をお知らせします。

鴻創会

平成21年度施政方針「スリム化・最適化」の元年と位置付ける理由は

問 3地域の一体化のある新市「鴻巣市」とは、どのようなことか。

答 平成17年の合併後、新市建設計画に掲げる将来都市像こそ一体化した新市のあるべき姿と考えます。その必要性は、地方分権化の地域経営の確立、保険・福祉・医療サービスの充実、従来の行政区域を越えた広域的な施策・事業の実施、専門職員の配置や能力の向上、専任組織の設置、厳しい財政下での財政健全化に向けた行財政の効率化であり、住民意識における一体感の醸成に努め、市全体の均衡ある発展を意識した行政運営を行います。

問 自立のための行政改革の中に、税収増に関する対策はあるのか。

答 地方分権は、行政の自己決定・自己責任が原則で、それを支える税財源充実は不可欠です。市税徴収プロジェクトを充実させ、臨宅徴収の強化や県と共同の不動産公売、差し押え動産のインターネット公売導入も進めます。本市の自治体自立の第一歩は、自主財源である税の徴収率向上であり、徴収対策を強化し適正な課税に努め、税の増収を図ります。

公明党

水道料金徴収委託と財政見直しによる廃止・休業の事業の内訳

問 水道料金等徴収業務委託することによるメリットは。

答 平成21年4月1日から公営企業健全化計画及び中期経営計画に基づき、公営企業法第33条の2の規定を適用して委託します。メリットは全面受託を専門とする民間事業者の活力、経営手法、創意工夫により、安定した市民へのサービスが提供され、向上が図れます。料金滞納者の滞納整理・給水停止業務では、ノウハウを駆使し、収納率向上が期待できます。定員管理の適正化が実行され、職員給与と業務委託料の支出の差から支出削減が図られます。

問 厳しい財政運営の中から見直しされる事業は何か。

答 まちづくりビジョン会議運営事業、国際交流事業、川里中央地区コスモス播種事業、郷地落排水路改修事業、地域福祉計画策定事業、ひとり親家庭児童就学支援支度金扶助事業、健康づくり活動補助事業、都市計画業務支援システム事業、公園親水施設整備事業、花の里親事業、公園台帳整備事業、生涯学習推進会議運営事業の計12事業です。

鴻巣フロンティア

経済状況を踏まえ鴻巣市事業計画の見直しを

問 市政の運営に当たり、最も重要なことは、鴻巣市が健全財政の下で市政の運営を行い、市の発展を期することです。鴻巣市は昨年末、未曾有の財政危機から財政非常事態宣言を行い、平成22年度も厳しさが続くと予測しています。こうした経済状況が続くと鴻巣市の現在の財政計画に影響を与えることが考えられます。実体経済を踏まえた財政計画の立案が求められることから、財政計画の見直しを行うとともに財政事情や政策の優先度を考慮した事業の年次計画の見直しについてどうお考えか。

答 世界金融危機による日本経済の景気後退で、鴻巣市は平成21年度と同様、22年度以降における市税や地方交付税などの一般財源の確保につきましましては、厳しい状況が続くものと考えます。

このような厳しい状況の中におきましても、事業の重点化・優先化を推進するとともに、経済状況・財政状況を見極めながら、必要に応じて現在の事業計画や財政計画の見直しも視野に入れ、市政運営を行ってまいります。

一人会派クラブ

「スリム化・最適化」の名もとの負担増・雇用対策など質す

問 09年度予算は「スリム化・最適化」の名のもと、1197万円（159件）の補助金・報償金カットがされた。8億円の税収減、国民健康保険への繰入れを理由としている。

一方で、総額64億円を注ぐ三谷橋大間線に8.2億円。更にこの時期に1億5500万円を計上し、「歴史民俗資料館」建設など、ハコモノはいらないという市民の声とは相いれない。

答 新市にふさわしい行政サービスの充実と行政規模を実現し、各地域で均等なものにしていくものです。

問 本市でも派遣切りや請負労働者の離職者対策が切望されています。

生活に困り、市や社会福祉協議会の窓口に来所している中、市としての取り組みを質しました。「派遣村」に見られるシエルターや相談窓口の設置を。市長が企業訪問などとして、雇用についての対応がされたか。

答 市営住宅は空きがないので、住宅には対応できません。

雇用については「緊急雇用創出基金事業」として「環境美化パトロール事業」に採用していきます。

クリーン・ネット21

共和箕田線整備事業の進捗状況を伺う

問 進捗状況はどのようなか。

答 共和箕田線整備事業は、川里地域の県道鴻巣羽生線から国道17号までの区間を、市民の日常活動や産業活動の各場面で人・物の交流が活発に行われる活力ある都市づくりを指したものです。広域的な幹線道路網の整備が必要で、新市の中央部を東西に結ぶ新たな骨格道路として、国道17号で都市計画道路の荒川左岸通線に接続させる計画です。

両路線が整備されますと、JR高崎線西側へ通じる道路となり、利便性の向上・新市間の連携強化・安全で円滑な交通の確保等、地域発展へ寄与する道路となります。

本事業は、新市建設計画において鴻巣・川里地域を結ぶ骨格道路として、新市の速やかな一体性の確立と均衡ある発展を図るための施策別戦略的・重点的プロジェクト事業に位置付けている事業ですので、都市計画決定とその後の事業化を引き続き目指していきます。

なお、今後の都市計画決定時期については、関係地権者の合意形成の状況を把握しながら決めていきます。

社会民主党

統廃合の施設は施設整備の検討機関と課題は

問 市長は平成21年度施政方針において、不断の事業の見直しのなかで、今後は施設の統廃合、既存施設の有効活用を具現化すると述べています。そこで、施設の統廃合について、現在、対象となりうる施設はどこを指しているのか伺います。

答 施設の統廃合については市営駐車場の運営経費の削減、市営住宅下谷団地の入居停止、陸上競技場第三種公認の検討、屈巢・共和公民館の検討の4項目であります。

問 吹上地域における総合的教育施設整備及びパークゴルフ場の増設を含めた整備は、事業化に向け検討するとありますが、検討するにあたっての機関と課題について伺います。

答 総合的教育施設については（仮称）総合的教育施設建設検討委員会を設置、計画案の策定を目指します。

パークゴルフ場の増設等の整備については、まちづくり部を中心にしてPFI事業の活用や指定管理者の自主事業等による整備手法や整備形態、スケジュールなど様々な観点を視野に入れ、検討していきたいと考えています。

日本共産党

不要不急の大型開発を見直し、住民の福祉の増進に努めること「優先に

問 財政危機を乗り越えるためと、在宅重度心身障害者等の紙オムツ代支給事業や福祉タクシー券、自動車燃料費補助の削減など、社会的に弱い人たちの福祉切りすてで、地方自治体の本旨である福祉の増進になるのか。

答 緊急財政対策本部を設置し十分議論され、近隣市との比較、国や県の補助の実態を精査して慎重に審議した結果、やむなく削減に踏み切りました。

問 客が入らない鴻巣駅東口再開発ビル商業棟、工事が中断したままの北鴻巣駅西口マンションの現状をどう認識しているのか。

答 商業棟は三菱商事都市開発が運営していますが、厳しい状況にあると認識せざるを得ません。エルミコうのすはテナント入れ替え改装の時期、業務改善を図っているものと受け止めています。

問 上谷総合公園整備、三谷橋大間線事業など大型開発は当面凍結し市民のくらしを支える予算にすること。
答 新市建設計画の主要事業として基盤整備を進めることは重要な任務と考えています。